

のり海況速報 第4報 (27-4)

平成27年11月11日発行
千葉県水産総合研究センター
東京湾漁業研究所
千葉県農林水産技術会議

資料 のり海況調査 11/4：内湾(ふさなみ)、11/6：内房北部(ふさみ丸)
関東・東海海況速報(10/22-11/11)、東京湾口海況図(10/22-11/11)
自動観測ブイデータ(10/22-11/11)、拓南観測データ(11/6)
モニタリングポスト(11/4：国交省関東地方整備局)

【水温・塩分の状況】

- ・内湾の表層水温は前回(10/19)より約1～2℃低下し、18～19℃台になっています。塩分は羽田沖でやや低くなっていますが、浦安から富津にかけての海域は30～32台で、平年よりやや高めになっています。(図1)。
- ・内房北部の表層水温も19℃台になっています。塩分はおおむね32台でした。
- ・内湾の調査ラインの水温・塩分の鉛直分布では、水温は表層と底層の温度差が前回より小さくなっています。塩分は中央部の底層付近まで33.5以上の水塊がみられていました(図2)。
- ・東京湾口への沖合水の流入はいまのところ少ないようです。

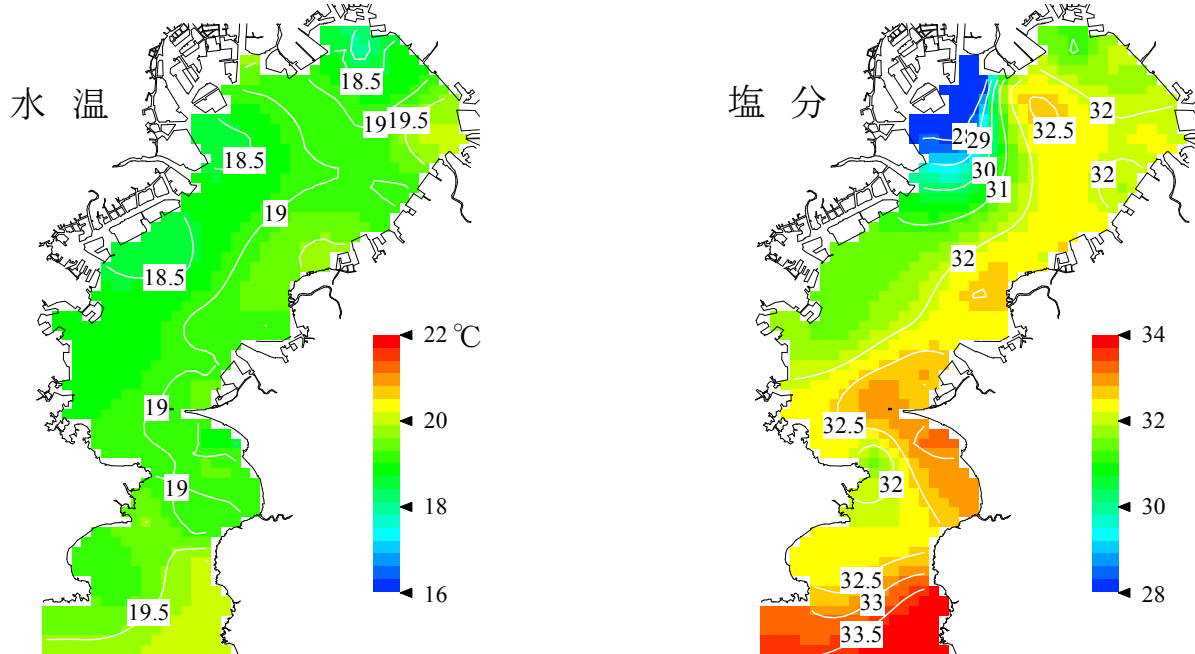


図1 表層の水温・塩分の分布(平成27年11月 4-6日)

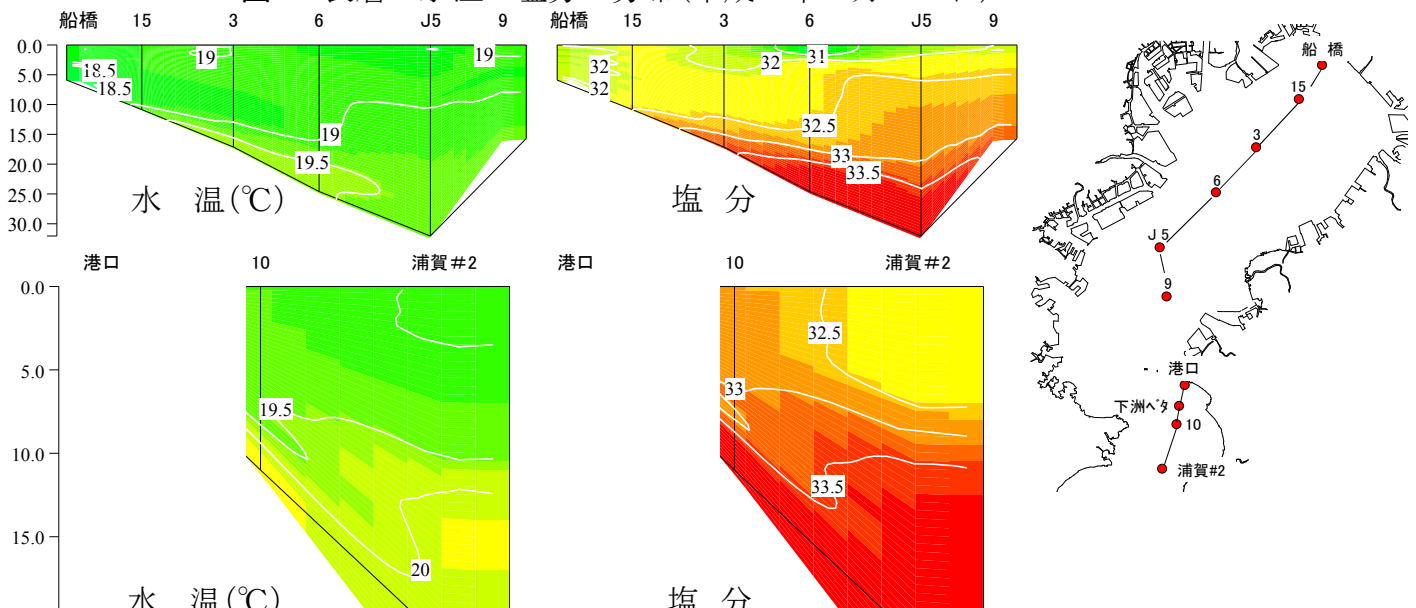


図2 調査ラインの水温・塩分の鉛直分布(平成27年11月 4-6日)
(上：内湾、下：内房北部、右：調査ライン)

【赤潮・栄養塩の状況】

- ・赤潮は全域で発生していませんでした。
- ・プランクトンは少なく、渦鞭毛藻のアカシオ サンガイネアが内湾で、ケイ藻のキートケロス は内房北部でやや多くみられる程度でした。透明度は内湾北部でやや低いところがみられましたが、おおむねで4m以上あり、水色もほぼ黄緑色でした。
- ・表層の栄養塩(図3)は窒素(D I N)・リン(D I P)とも十分あり、のり養殖にとって問題ない濃度です。

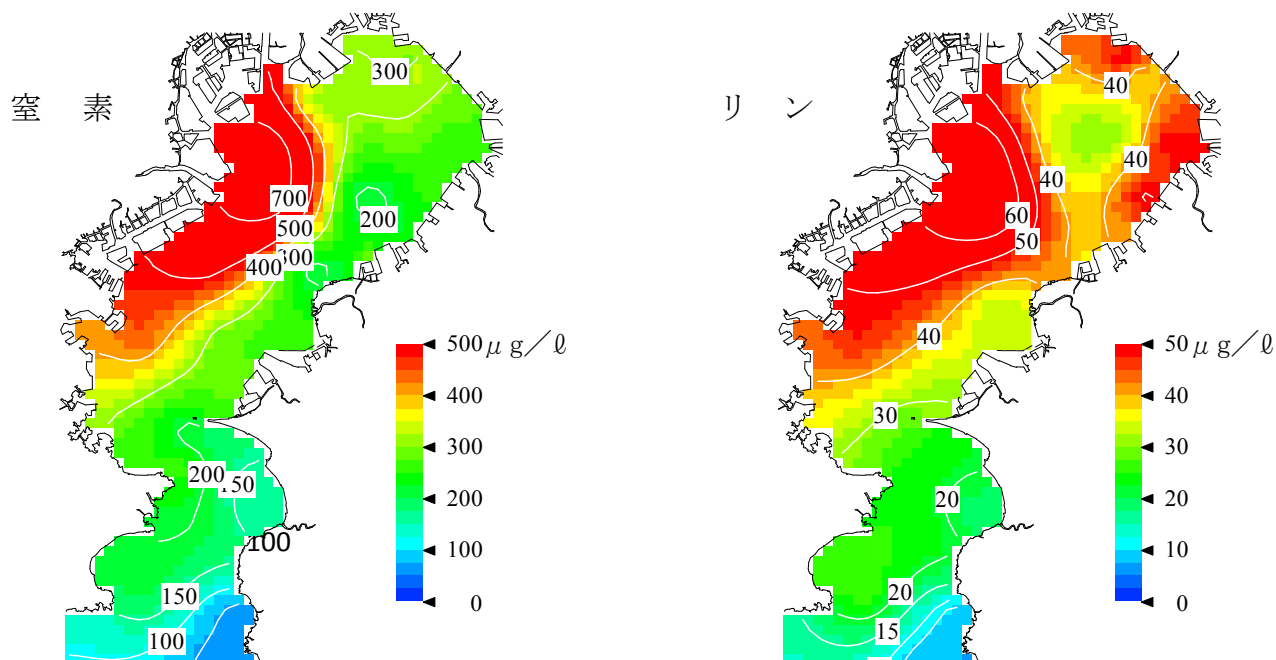


図3 表層の栄養塩濃度の分布(平成27年11月 4-6日)

川養殖場水温予報のお知らせ

今年も、各川養殖場(三番瀬, 盤洲北部, 盤洲南部, 富津岬北, 富津岬南)について、5日先まで表層水温を予報します。パソコンまたは携帯の検索サイトで”川養殖場水温予報”で検索するか、下記アドレスを直接入力してご覧ください。

パソコン：http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbsuishi/cbtk/04tk-yohou/main_frame.html

携帯：http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbsuishi/cbtk/04tk-yohou/mobile_forecast.html